

# 第58期 定時株主総会

2021年 6月18日（金）

ウェーブブロックホールディングス株式会社  
証券コード：7940  
（東証一部）

ウェーブブロックホールディングス株式会社  
代表取締役兼執行役員社長 石原 智憲 (いしはら とものり)

- 1989.4 (株)リクルート 入社
- 2005.4 同社 経理部長 (経理時代に主要子会社数社の監査役も経験)
- 2006.4 同社 財務部長
- 2008.4 同社 事業統括室カンパニーパートナー
  
- 2009.7 ウェーブブロックホールディングス(株) 入社  
執行役員管理本部長
- 2010.6 取締役兼執行役員管理本部長 (主要子会社の役員も兼務)
- 2021.4 代表取締役兼執行役員社長

# 報告事項

# 連結業績概要

## 2021年3月期 決算のポイント

売上高 29,248百万円

- 前年同期比△0.0%、予想比+0.9%
- アドバンステクノロジー事業における拡散板の販売、  
マテリアルソリューション事業におけるホームセンター向け  
販売は期を通じて好調に推移
- マテリアルソリューション事業における建設関連は苦戦
- インテリア事業は販売単価の低下等により伸長せず

## 2021年3月期 決算のポイント

営業利益 1,489百万円

- 前年同期比△8.2%、予想比△6.9%
- 減少は、WIT株式譲渡に係る費用等を計上したことが主要因
- その費用を含まない場合は前年同期比、予想比ともにプラス
- 営業利益率は、相対的に高利益率な製品の販売が伸長したマテリアルソリューション事業がカバーし、連結全体では前年同期比微減となった。（2020年3月期：5.5%、2021年3月期：5.1%）

## 2021年3月期 決算のポイント

当期純利益 2,386百万円

- 前年同期比+115.2%、予想比△4.5%  
(※WIT株式譲渡に伴う特別利益の計上が見込まれたため、2021年2月10日開示にて当期純利益予想を1,000百万円から2,500百万円へ上方修正)
- WIT株式譲渡により子会社株式売却益を計上するとともに、関連資産である固定資産の譲渡により固定資産売却損を計上

## WIT株式譲渡による主な影響

- アドバイザーフィー等の販売管理費 159百万円
- 子会社株式売却益 2,094百万円
- 固定資産売却損 92百万円

(単位：百万円)

	2020年3月期 (実績)	2021年3月期 (実績)	前期比 増減額	前期比 増減率	業績予想 (2021年 2月10日 上方修正)	予想比 増減額	予想比 増減率
売上高	29,251	29,248	△ 3	△0.0%	29,000	+248	+0.9%
営業利益	1,622	1,489	△ 133	△8.2%	1,600	△ 110	△6.9%
経常利益	1,598	1,428	△ 169	△10.6%	1,580	△ 151	△9.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,108	2,386	+1,277	+115.2%	2,500	△ 113	△4.5%
1株あたり 当期純利益 <sup>1</sup>	116.30	244.82	-	-	256.45	-	-
EBITDA <sup>2</sup>	2,712	2,568	-	-	-	-	-

1. 発行済株式総数から自己株式等を控除した期中平均株式数により計算しています。期中平均株式数は、2020年3月期は9,535,664株、2021年3月期は9,748,354株です。  
 2. EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

- 営業利益は前年同期比+1.6%の増益となり、期初予想に対しては+3.1%
- 営業利益率では、2020年3月期5.5%、2021年3月期5.6%
- 当期純利益において前年同期比△103百万円。これは2020年3月期において計上した投資有価証券売却益（75百万円）の影響が大きい

(単位：百万円)

	2020年3月期 (実績)	2021年3月期 (ご参考)	前期比 増減額	前期比 増減率	期初 業績予想	期初 予想比 増減額	期初 予想比 増減率
売上高	29,251	29,248	△ 3	△0.0%	29,000	+248	+0.9%
営業利益	1,622	1,649	+26	+1.6%	1,600	+49	+3.1%
経常利益	1,598	1,626	+27	+1.7%	1,580	+46	+2.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,108	1,005	△ 103	△9.4%	1,000	+5	+0.5%

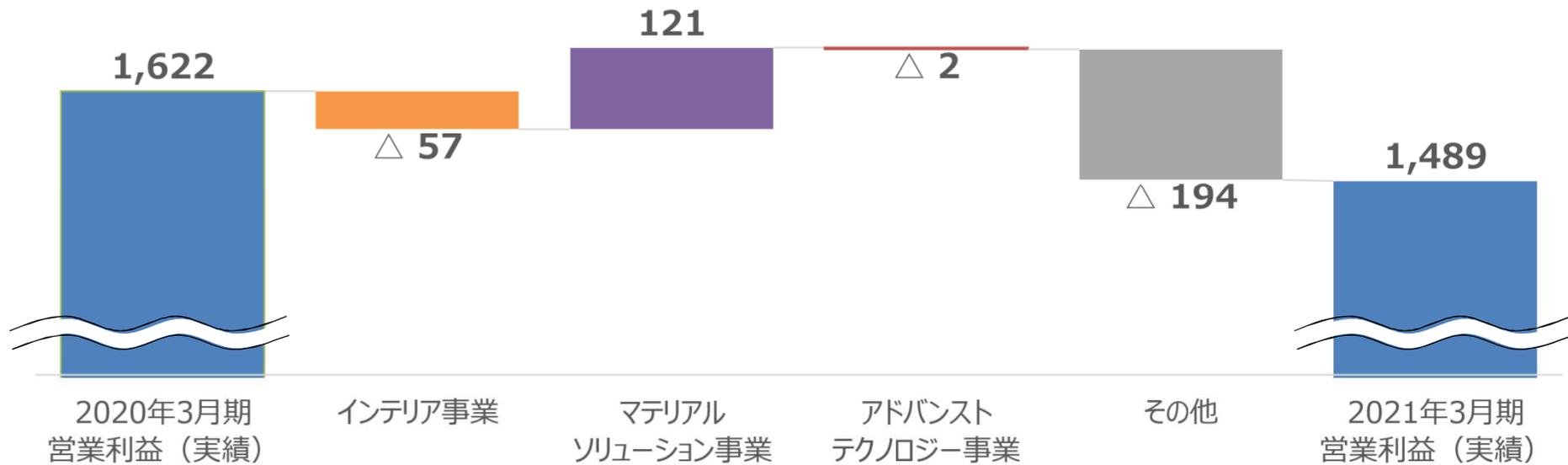
※監査等を実施していない参考値です

(単位：百万円)

	2020年3月期 (実績)	2021年3月期 (実績)	前年同期比 増減率	業績予想	予想比
売上高	29,251	29,248	△0.0%	29,000	+0.9%
インテリア	9,693	9,431	△2.7%	9,200	+2.5%
マテリアルソリューション	16,200	16,131	△0.4%	16,800	△4.0%
アドバンステクノロジー	4,001	4,127	+3.2%	3,000	+37.6%
その他	△ 643	△ 442	-	-	-
営業利益	1,622	1,489	△8.2%	1,600	△6.9%
インテリア	922	865	△6.2%	700	+23.6%
マテリアルソリューション	1,120	1,242	+10.9%	1,150	+8.1%
アドバンステクノロジー	80	78	△3.1%	200	△60.8%
その他	△ 501	△ 696	-	-	-

# 営業利益 増減要因（前年同期比）

(単位：百万円)



- 売上高減少に伴う減益 △22
- 製造効率改善に伴う増益 +53
- デザイン力強化等のための人件費等、販売管理費増加による減益 △89

- 高利益率製品の販売増加に伴う増益 +251
- パッケージソリューション分野の利益率改善に伴う増益 +185
- ビルディングおよびインダストリアルソリューション分野の売上減少に伴う減益 △308

- ディ스플레이用拡散版の販売増加に伴う増益 +43
- PMMA/PC2層シート分野のスマートフォン筐体分野の撤退、売上減少に伴う収率悪化等による減益 △106
- 出張費の減少による増益 +54

- WIT株式譲渡に伴う費用等 △159
- 在宅勤務導入に伴う本社オフィスレイアウト変更（半減）による費用 △32

- 2020年3月期まで着実に有利子負債残高を減少させ自己資本比率を改善
- 加えて、2021年3月期においてWIT株式51%の譲渡により借入金を一部返済し、財務体質健全化が進んだ

(単位：百万円)

	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期
売上高	25,055	26,886	27,702	28,229	29,251	29,248
営業利益	740	1,359	1,834	1,521	1,622	1,489
当期純利益	365	1,107	1,594	1,429	1,108	2,386
<b>有利子負債残高 (前期比増減額)</b>	<b>10,884 (△1,873)</b>	<b>10,816 (△67)</b>	<b>10,115 (△701)</b>	<b>9,788 (△327)</b>	<b>7,992 (△1,796)</b>	<b>5,011 (△2,980)</b>
<b>自己資本比率(%)</b>	<b>29.2</b>	<b>31.2</b>	<b>35.7</b>	<b>38.2</b>	<b>41.3</b>	<b>54.6</b>
現金及び預金	1,773	2,062	2,489	2,044	2,367	4,882

## 基本方針

- 配当性向：「**35%以上**を目安に、安定的な配当を実行・維持する」へ変更
- 変更前：負ののれん償却額の影響を考慮した配当性向（※）が20%から30%となることを目安

※負ののれん償却額の影響を考慮した配当性向

$$= \text{配当総額} / \left( \text{親会社株主に帰属する当期純利益} - \text{負ののれん償却額} \right)$$

## 2021年3月期 配当

- 第2四半期末、期末でそれぞれ1株あたり15円(通期30円)
- ウェーブロックインテリア株式譲渡による影響を除いた配当性向は**29.4%**

## 2022年3月期 配当見通し

- 第2四半期末、期末でそれぞれ1株あたり15円（通期30円）
- 配当性向は今期予想当期純利益ベースで**39.9%**

基準日	1株あたり配当金（円）		
	第2四半期末	期 末	合 計
2021年3月期（実績）	15円	15円	30円
2022年3月期（見通し）	15円	15円	30円

# 中期3力年計画 (2022年3月期～2024年3月期)

## ビジョン

ウェーブロックグループのステークホルダーの幸せを最大化するために、業界の中でも世界トップクラスの収益性を誇る存在感のある企業になることを目指す

## ミッション

ウェーブロックグループの製造技術、ノウハウ、ビジネス上のリレーションやネットワークを駆使して、社会が抱えるさまざまな「不」を解決する

## バリューズ

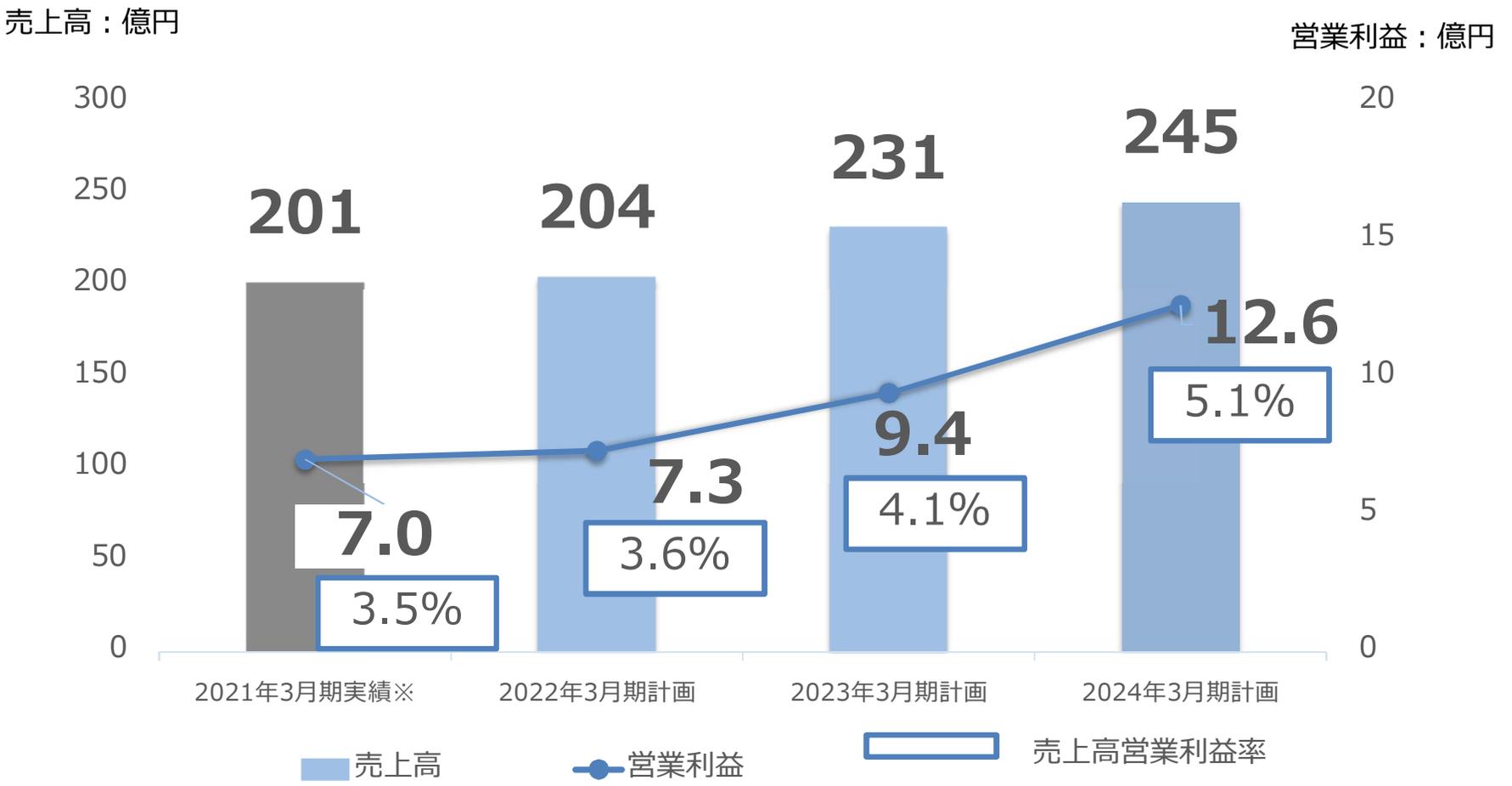
個人の尊重

正直であり  
誠実

前向きな失敗は  
問わない

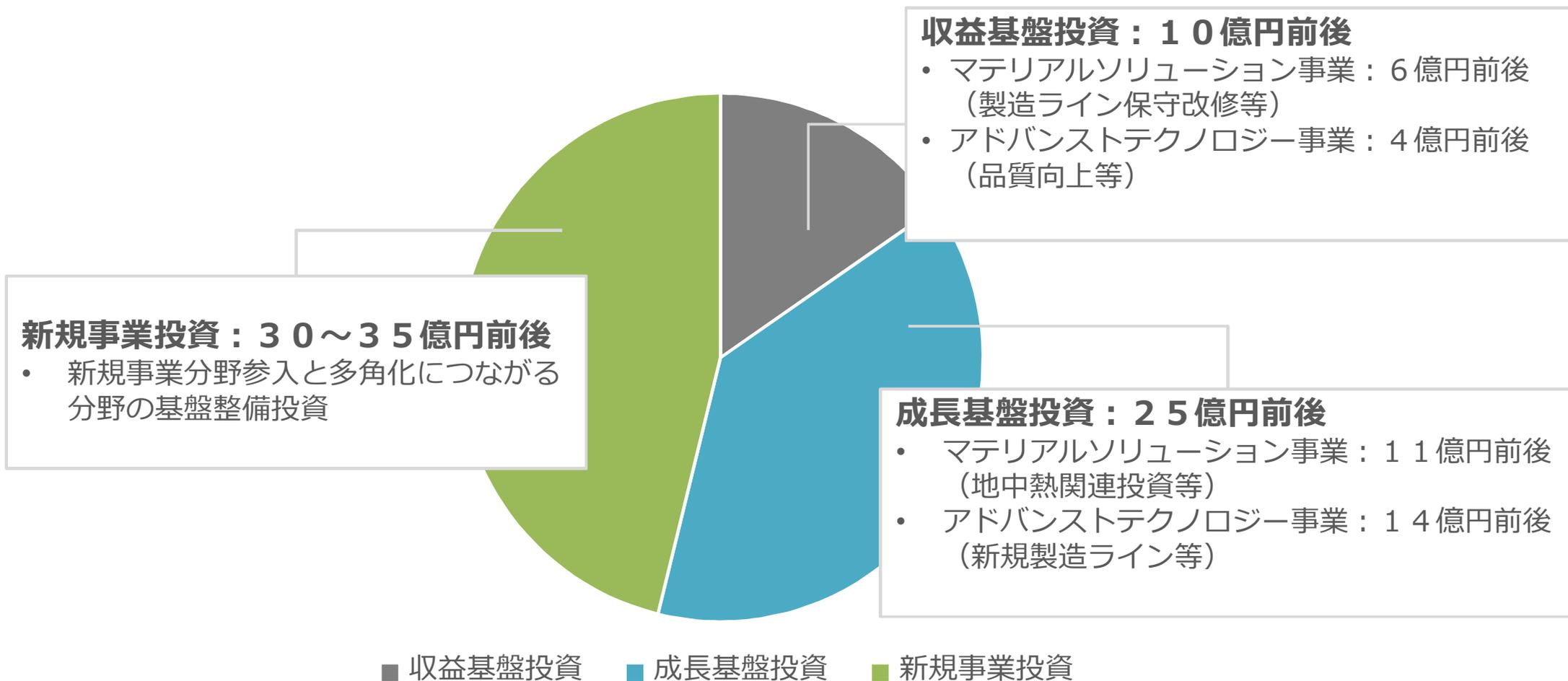
# 中期3カ年業績計画

- 既存の2事業を軸に、着実に利益の向上を図る
- 次の3か年計画の初年度となる2025年3月期に、(株)ウェーブロックインテリア譲渡前の利益水準を狙える基盤を確立



※2021年3月期実績はインテリア事業に係る損益計算書および(株)ウェーブロックインテリア株式譲渡による影響額を除いた参考値

## 3カ年で合計約70億円の投資を計画



# 2022年3月期 業績見通し

## 2022年3月期 業績の見通し

- 売上高 20,400百万円 (前期比  $\Delta$ 30.3%)
- 営業利益 730百万円 (前期比  $\Delta$ 51.0%)

(単位：百万円)

	2021年3月期 (実績)	2022年3月期 (業績予想)	前期比 増減	前期比 増減率
売上高	29,248	20,400	$\Delta$ 8,848	$\Delta$ 30.3%
営業利益	1,489	730	$\Delta$ 759	$\Delta$ 51.0%
経常利益	1,428	1,030	$\Delta$ 398	$\Delta$ 27.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,386	740	$\Delta$ 1,646	$\Delta$ 69.0%
1株あたり 当期純利益	244.82	75.57		

## 2022年3月期 業績の見通し (WIT譲渡考慮比較)

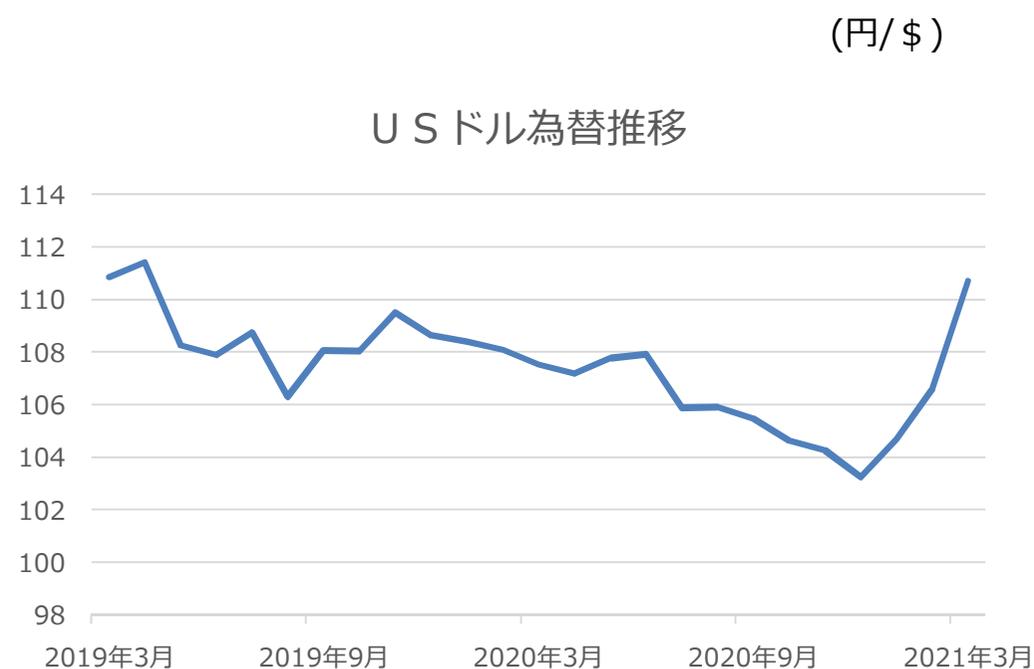
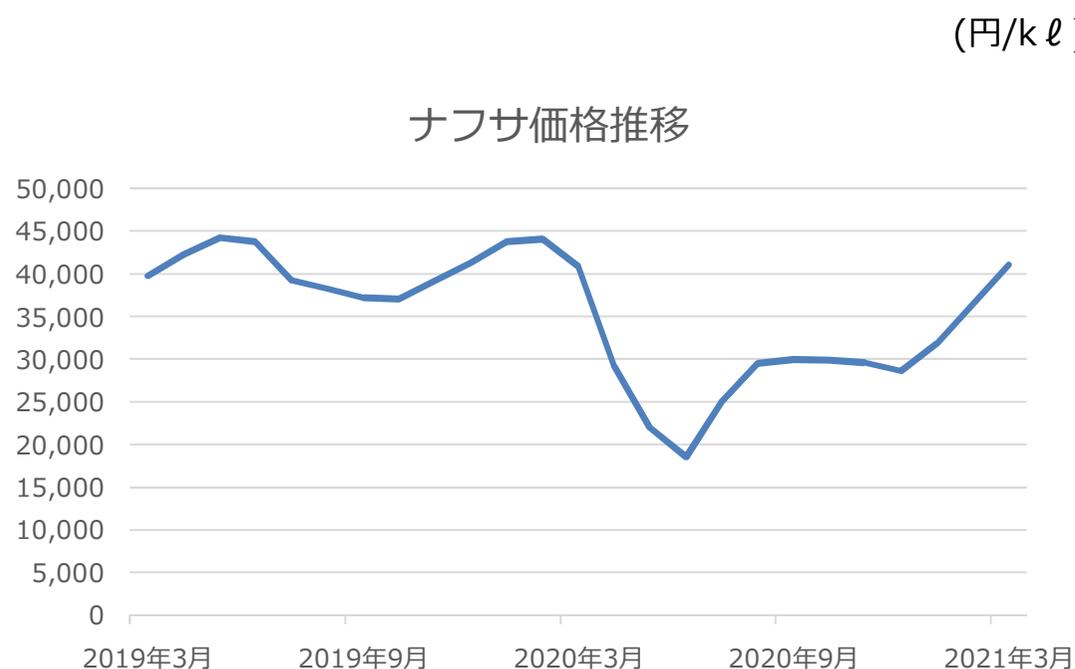
(単位：百万円)

	2021年3月期 (実績)	2022年3月期 (業績予想)	前期比 増減	前期比 増減率
売上高	20,173	20,400	+226	+11.3%
営業利益	709	730	+20	+2.9%
経常利益	953	1,030	+76	+8.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	622	740	+117	+19.0%
1株あたり 当期純利益	63.81	75.57		

※2021年3月期実績はインテリア事業に係る損益計算書および  
(株)ウェーブブロックインテリア株式譲渡による影響額を除いた参考値

## 今期見通しの前提

- ✓ 為替  $\$1 = 105$ 円
- ✓ ナフサ価格 35,000円/kl



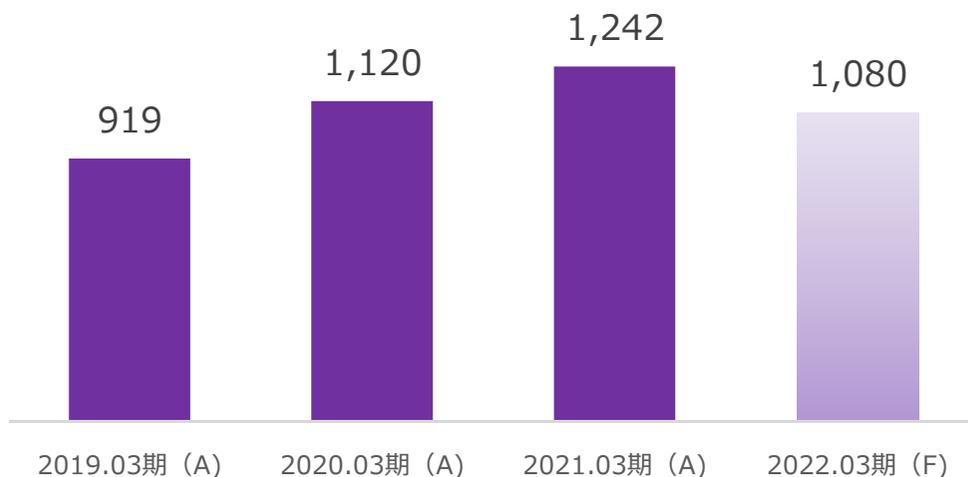
(出典：財務省貿易統計)

## トピックス

売上高 (単位：百万円)



営業利益

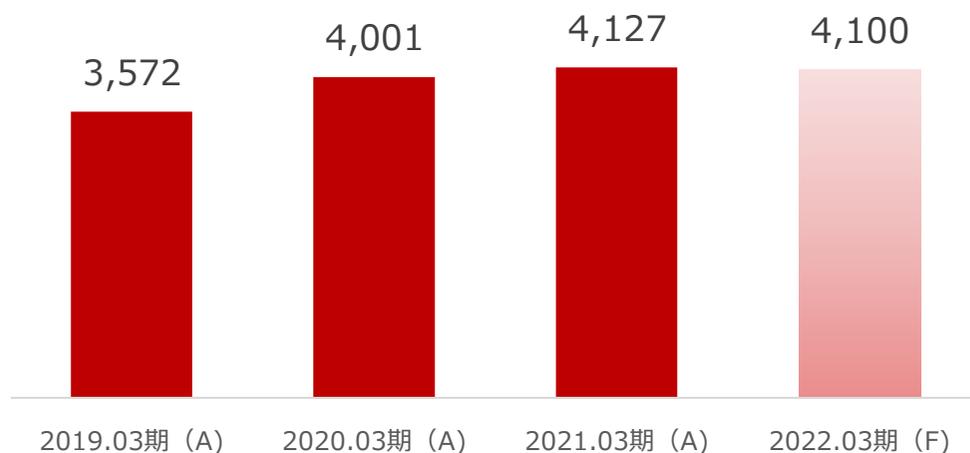


売上高 16,300百万円 (前期比+1.0%)  
営業利益 1,080百万円 (前期比△13.1%)

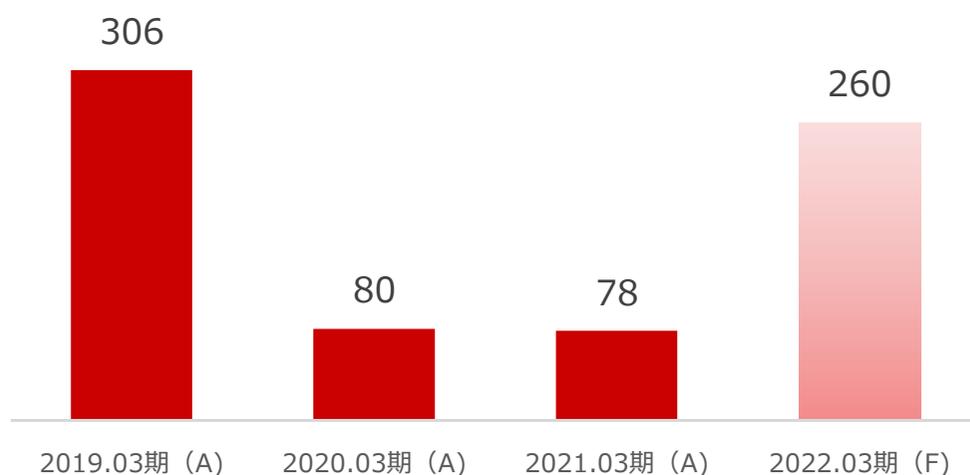
- 生産性の更なる強化と流通チャネルの最適化を推し進め、安定収益基盤の向上を図ると共に、環境ビジネスの強化や海外事業戦略等の新領域へのチャレンジに積極的に取り組む
- 中期計画内で掲げた2024年3月期の目標を達成すべく、生産設備投資や地中熱ビジネスへの取り組みを今期から活発化
- 営業利益面では、①原材料価格が上昇傾向にあること、②巣籠り需要や換気意識の高まりにより、一部製品において需要拡大していたものが今期は落ち着くと想定されること等を背景に2021年3月期からは減少すると見込む

## トピックス

売上高 (単位：百万円)



営業利益



**売上高 4,100百万円 (前期比△0.7%)**  
**営業利益 260百万円 (前期比+231.2%)**

- 技術とデザインによる品揃え拡充と、品質・ネットワークによる顧客サービスの向上で、自動車内外装プラスチック部品の市場成長を取込み、海外拠点における販売を強化
- 金属調加飾フィルム分野およびPMMA/PC2層シート分野において、昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う国内外自動車メーカーの工場停止等により厳しい状況が続いてきたが、操業再開で回復傾向により、利益率改善を見込む
- 湿布薬等の医療用貼付剤用途の特殊印刷分野および軟包装や段ボール等向け開封テープを供給するティアテープ・カットテープ分野においては、引き続き安定した売上高を見込む

本資料の作成にあたり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。

また、将来に関する記述が含まれている場合がありますが、実際の業績は様々なリスクや不確定要素に左右され、将来に関する記述に明示又は黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。

本資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が、その他の目的で公開又は利用することはできません。